



栗原小だより

〒123-0843 足立区立西新井栄町 2-10-18

<https://www.adachi.ed.jp/adkuha/>

令和 6 年度

3月号

足立区立栗原小学校

校長 田中 泰徳

TEL 3887-6391

2月は何で短いの？

校長 田中 泰徳

あっという間に2月が「逃げ」て、今年度も残すところあと1か月。持久走記録会と6年生を送る会が無事に終わり、全校児童で行う大きな行事は修了式を残すだけとなりました。6年生にとっては小学校に通う日数は6年間で約1200日、その締めくくりの16日間になります。そのほかの学年も進級に向けて、最後まで気を抜かずに、有終の美を飾ってほしいと思います。

先日、ある児童から、「何で2月だけ他の月より短いんですか？」と聞かれました。昔であれば、「今の暦のもとになっているローマ時代の暦は3月がスタートでした。2月は1年間の最後の月だったから半端な日数なんだよ。」と教えていましたが、「いいところに気が付いたね。タブレットで調べてごらん」と今回は言いました。「月って何個あるの？」「アメリカは地図（日本が中心の地図）を見るとヨーロッパとすごく離れているのに何で同じNATOに加盟しているの？」「 2×2 は4なのに、何で 2×3 は5じゃなくて6なの？」など、今までいろいろな質問を児童からされたことがあります。学習や生活のなかで疑問をもつことはとても大切なことです。そして、折角生まれたその疑問をそのままにするのではなく、人に聞いたり、自分で考え予想を立てたり、調べたりして解決しようとするのはもっと大事なことだといえます。昔は疑問に答えてくれる資料やデータはすぐには手に入らなかったため、結局身近な大人に聞くことがほとんどだったと思います。今はタブレットが1人一台あり、疑問に思ったことやわからないことはすぐに調べることができます。しかし、同じ環境であっても、自分から調べる子、促されて調べる子、なかなか調べない子に分かれてしまうのが現状です。もっと言えば、これからの時代は、わからないことを調べるのではなく、AIに質問して答えてもらうのが当たり前の時代になり、AIへの適切な質問の仕方やAIの回答の信憑性を確認して正しく活用していく力が求められていくでしょう。

今年度、栗原小学校では自由進度学習をスタートさせました。学習内容や方法について、自分で選択や決定をしながら学びを進め、結果を振り返り、次に向けて調整していく力をつけることを目的に取り組んできました。上記のような疑問に思ったことを自分で調べることをはじめ、AIを適切に活用し解決していくことも今後目的に含まれていくでしょう。今までのように知識の量や正確さを求めるだけでなく、様々な環境を活用して学びに向かう姿勢や学び続ける意欲が高まってほしいと願っています。まだまだ始まったばかりで、不十分なところも多々ありますので、もしかすると今までの学力の計り方（学力調査等）には反映されづらい部分かもしれませんが、根気強く指導し精度を高めていきたいと思っています。（自由進度学習にとりくんで、自分から学習することができている児童：89%）

保護者、地域の皆様には、この1年温かく見守り、多くのご理解ご協力をいただいたことに心より感謝申し上げます。誠にありがとうございました。来年度も引き続き、栗原小学校の教育活動へのご支援をよろしくお願いいたします。

2月15日（土）に持久走記録会がありました。

子供たちは、一人一人の目標に向けて、栗原タイムや体育の時間にたくさん走ってきました。当日は第七中学校の校庭をお借りして、前半は2、3、6年生、後半は、1、4、5年生が行い、低学年3周、中学年5周、高学年7周を走り切りました。

それぞれの学年で、楽しみにしていた児童や不安に感じていた児童もいましたがもてる力を精一杯に発揮し、実りのある持久走記録会になったと思います。 体力向上部 沼田